

2020年度 第2回運営委員会議事録

踊場地区センター

開催日 : 令和2年9月12日(土) 10:00~11:30

場所 : 踊場地区センター 大会議室

出席 : 委員長、副委員長2名、委員16名(合計19名)

戸塚区役所地域振興課 職員1名

踊場地区センター 館長、副館長2名

資料 : 踊場地区センター運営委員会 次第

利用条件の変更状況、感染防止対策について(資料1)

予算の執行状況について(資料2)

自主事業について(資料3)

入館者数について(資料4)

インターネット予約の導入について(資料5)

感染防止対策取組書 LINE コロナお知らせシステム

利用者アンケート(案)

2020年度踊場地区センター 運営委員名簿

I 開会

II 委員長挨拶

地域の方々が一同に会する機会が減っているので、この場で地域からの情報があればお伺いします。初めてお会いする方もいらっしゃるので、まずは自己紹介からお願いします。

III 議題

1. 地区センターの運営について

- (1) 利用条件の変更状況
- (2) 感染防止対策について
- (3) 予算の執行状況について
- (4) 自主事業について

(5) 入館者数について

【資料に沿って説明】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、横浜市の要請で3月～5月まで臨時休館いたしました。6月1日から感染症拡大防止の策を講じたうえで条件付き一部開館を行い、以降段階的に利用制限が緩和されている状況です。この影響により来館者数、利用料金等の収入は大幅な減となっています。今後も大幅な収入増は見込めないことから、支出を抑えた効率的な運営を目指します。自主事業は8月まで全て中止としましたが、9月から段階的に再開予定です。不特定多数の方々が会する事業や、飲食を伴う事業は当面開催を見送ります。

【ご意見】

- このような社会情勢ですから、開館しても来館者が少ないのは致し方ない事と思います。

2. インターネット予約の導入について

【資料に沿って説明】

- 利用者への説明会を開催します。
- インターネット申込みをする団体にとって便利になります。インターネット申込みを利用されない団体が不利になることはありません。
- インターネットを利用しない団体は来館（現行より1ヵ月早い3ヵ月前から受付開始）やFAXによる申込みができます。

【ご意見】

- 特にご意見はないようです。インターネット予約導入の準備を進めてください。

3. 令和2年度踊場地区センターまつりについて

【状況説明】

- 毎年2月に開催するセンターまつりの準備等を考えると、実施の可否を判断する時期となりましたので皆様にお諮りします。新型コロナウイルスの収束が見えてこない中での開催は、地域の皆様や参加者の安全を考慮すると難しいと考えていますがいかがでしょうか。

【ご意見】

- 政府のコロナ分科会ではJリーグ等の観客動員数増を検討している。もう少し様子を見てから決めてはどうでしょうか。

- 小中学校の運動会は来賓を迎えずに開催すると聞いています。そのような状況下でセンターまつりに学校の参加をお願いすることは難しいと考えます。
- 「風の子まつり」は例年と形を変え、子ども達の様子を映像で見せることを計画している。
- 修学旅行も中止となりました。現時点ではセンターまつりに参加できると回答することはできない。時期的に受験生のことを考えると、学校へウイルスを持ち帰られては困る。
- 学校イベントが中止となっています。現時点で参加について回答できない。
- インフルエンザも流行する時期である。センターまつり本来の趣旨である「交流」から外れた内容にしてまで開催すべきか悩む。
- 飲食は止めるべきと思う。センターまつり全てを中止と判断することは簡単であるが、時間差を設けて参加人数を制限するなど策を施して、形を変えてできることがないか検討しても良いのではないか。東汲沢小の「風の子まつり」は一カ月の検討期間を設けることにした。
- 踊場地区センターまつりは、開館以来地域参加型のまつりとして実施してきた経緯がある。作品展示を中心としたまつりで良いのだろうか。
- 時期をずらしての開催はどうか。暖くなる4、5月頃であれば感染症も少しは収まるかもしれない。
- 大丸町内会は運動会、餅つきなどイベントを中止することで決定した。イベントは皆で集い、互いに話をしながら飲食をするからこそ楽しい。それを伴わないイベントに楽しさはあるのだろうか。
- 一カ月の検討期間を設け、提案を受付けてみてはどうか。
- 飲食・ゲーム・ふれあいの要素を除くと、踊場文化まつりとしての楽しさがなくなってしまう。また社会情勢的には経済を循環させる観点から規制緩和しているが、我々のまつりは経済的に開催する必要があるものではない。これらから判断し今年度の文化まつりは中止とした。
- この先、様々な利用条件が緩和されると気持ちが緩み、第3波が来ることも考えられる。準備のことも考えると一カ月後の決定ではなく、今日この場で中止と判断するのが良いと思う。
- この地域は高齢者が多く、感染が怖い。

【結論】

- 審議の結果、今年度の「踊場地区センターまつり」を中止とすることが決定されました。

4. 今後の運営委員会の予定

センターまつりの中止に伴い、予定されていた第3回（12/5）、第4回（1/23）の運営委員会は中止とし、次回は3月20日に開催することになりました。

5. その他

【区役所地域振興課から】

休館期間中、地区センターはいつから使えるようになるかとの問合せが、区役所へも寄せられ、再開を待っている方がいることを嬉しく思っていた。

【谷矢部池公園愛護会】

9月から10月にかけては断片的な工事を、11月から1月までは立ち入り利用のできない工事を行います。恒例の「竹行灯の夕べ」は10月末に規模を縮小して開催する予定です。

【その他】

- センターに隣接する公園は工事で利用ができないなど、子どもの遊び場、居場所が減少している。センターで居場所づくりができないものか。
- 地区センター利用者アンケートを実施予定。アンケート質問内容案をご覧いただき、10月上旬までにご意見をお願いいたします。（館長）
- 12月20日（日）協会主催のクリスマスコンサートのご案内（館長）

以上